

会議名	令和7年度 グループホームセウイ 杉戸エリア 地域連携推進会議
日時	2025（令和7）年 11月 27日 10時～12時
場所	グループホームセウイ
参加者（敬称略）	①利用者代表 1名、②利用者家族 1名、③杉戸町民生委員 1名、 ④杉戸町役場福祉課職員 1名、⑤GH管理者⑥サービス管理責任者 ⑦相談支援専門員 1名、⑧生活支援員 1名
<p><内容></p> <p>*会議 10時～11時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者あいさつ 2. 自己紹介 3. 社会福祉法人じりつの概要及びセウイの成り立ち 4. グループホームセウイ事業・概要説明 5. グループホームセウイの各種取り組み状況（虐待防止・防災対策等） 6. 意見交換会 <p>*グループホーム見学 11時～12時 見学先：セウイホーム、チングハウス</p> <p><会議内容詳細></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者あいさつ 管理者から参加に感謝を述べ、地域連携推進会議の意図を共有、開催する目的を確認する。 2. 自己紹介 各参加者一人ずつ自己紹介。 3. 社会福祉法人じりつの概要及びセウイの成り立ち サービス管理責任者が担当。農作業を通じた活動から始まり、その後、地域での暮らしを支える事業を拡大してきた。セウイは、利用者が地域で安心して生活できる場として整備され、現在のグループホーム運営につながっていることを説明。 4. グループホームセウイ事業・概要説明 	

生活支援員が話す。共同生活援助（介護サービス包括型）と短期入所を実施している。食事、入浴、排泄などの日常生活支援に加え、相談支援や通院同行、金銭管理支援、関係機関との連絡調整などを行っている。地域活動への参加を紹介。

5. グループホームセウイの各種取り組み状況（虐待防止・防災対策等）

サービス管理責任者が話す。虐待防止については、相談体制や委員会設置、研修実施などの体制を整備している。防災・感染症対策についても、業務継続計画（BCP）の策定、各種研修や訓練、防災マニュアルの整備を進めている。また、定期会議や法人内研修を通じて、支援の質向上と職員育成に取り組んでいることを説明。

6. 意見交換会

Q.夜間帯に職員は勤務しているのか。

A.夜間、職員はいない。だが業務用携帯を持ち、24時間対応できる形になっている。そのほかグループホームと警備会社で契約を結び、緊急時の連絡ツールとして機器を設置している。機器の緊急ボタンを利用者が押すと警備会社が早急に駆け付けて、一時対応がなされる。また職員にも共有、連絡がされ、その都度対応できる体制を取っている。

Q.地域の活動を詳しく教えてほしい。

A.利用者が自治会で実施している雨水枡清掃の担い手になっている。また木野川地域に感謝をつたえる趣旨のキャンドルナイト in セウイを開催している。

その他、参加者が経験した周囲の人々が持つ障がい者のイメージの共有。障がい者理解の大切さを分かち合う時間となる。